

特集

人生100年時代の 看護師の養成

慢性疾患、ヘルスケア、生き方を見ずえる

2007年に日本は超高齢社会に突入し、2060年には高齢化率が40%に達するといわれます。

地域の年齢人口の偏在から高齢化の進展もさまざまで、各地域の特徴から課題をとらえる目もち、ヘルスプロモーションを理解した看護師の養成がますます期待されます。

また、病をかかえながら生きていく高齢者が増加していくなか、ウェルビーイングをより高めた生き方を支えるために、看護師も心を整えていかなければなりません。

本特集では、これからの老年看護学に欠かせないピースが何なのかを探求したいと思います。

